

初代市長に中田勝久氏

二月十三日(日)、南あわじ市の舵取り役を決める市長の選挙が行われ、即日開票の結果、初代市長に中田勝久氏が選ばれました。十四日の就任式で中田氏は「住民ひとりひとりの声を市政に生かし、職員と一丸となって市政に取り組みたい」と決意を述べ、中田市政がスタートしました。



▲14日、初登庁で職員から花束を受ける中田市長

●南あわじ市長選挙結果まとめ

当日有権者数 44,175人
投票総数 37,010人
投票率 83.78%

届出番号	候補者氏名	得票数
1当	中田勝久 無所属・新(67歳)	18,854票
2	森 紘一 無所属・新(64歳)	17,698票
有効投票数/36,552票		無効投票数/458票



▲三原健康広場体育館で行われた開票作業

▼**関心の高かった市長選挙**
 二月十三日行われた南あわじ市長選挙は、市内四十五か所の投票所で午前七時～午後八時まで行われ、午後九時三十分から三原健康広場体育館で即日開票されました。投票日前日まで、期日前投票が市内五か所で行われ、有権者の約一三パーセントにあたる五千八百八十四人が投票し、市長選挙への高い関心がうかがえました。投票終了時の午後八時までは、有権者四万四千七百七十

五人のうち八三・七八パーセントにあたる三万七千十人(期日前投票者に当日投票者三万四千五十一人、不在者投票者六百七十五人を加算)が投票を行いました。開票所には両陣営の運動員や一般市民らが詰めかけ、開票の様子をかたずを飲んで見守っていました。投票の経過は市のホームページとケーブルテレビ、オフラインで流され、市のホームページには、この日と翌日にかけて、約一万五千件のアクセス数があり、多くの市民が関心を寄せました。

▼市長初登庁・就任式

投票翌日の十四日、市の職員ら九十人が玄関先で出迎えるなか、中田市長が初登庁し、拍手で歓迎し、花束が手渡されました。その後、中央庁舎議会委員会室で市幹部職員ら約七十名が出席し、市長就任式が行われました。就任式では長江和幸市長職

就任あいさつ

南あわじ市長 中田勝久



早春の候、皆様におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

このたび、皆様の希望を背負い、市長として就任させていただきました。南あわじ市が産業や福祉、教育など全ての分野において他の自治体をリードできるように、職員と一丸となって取り組んでまいりますのでよろしくお願い申し上げます。

さて、一月十一日に晴れて四町が合併した訳ですが、多くの課題が山積しております。特に、昨年島内を襲った台風による河川や道路、農地等の

る方々の声を耳にしています。早速具体的な施策を展開し業界の方々とともに産業活性化に向かって取り組んでまいります。さらに、少子高齢化で一番大事な福祉・医療・教育を重点施策として進めます。一方財政難などの大きな問題もございますが、市民の声を聞きながら、住民本位の行政運営が展開できるように全力で取り組みたいと思います。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

中田市長の主な経歴

- ・昭和十二年八月七日生 (六十七歳)
- ・県立洲本実業高等学校卒
- 【職歴】
- ・三原町長 (平成六年七月二十九日～平成十七年一月十日・三期)
- 【団体歴】
- ・三原郡町村会長 (平成十二年七月～平成十七年一月)
- ・緑町・西淡町・三原町・南淡町合併協議会長 (平成十四年四月～平成十六年十二月)



▲長江市長職務執行者との事務引継ぎ

▼**事務引継ぎ**
 就任式の終了後、職務執行者との事務引継ぎが行われ、長江市長職務執行者から中田市長へ、市の業務、職員、市民の声を聴き、市の施策として活かしていきたい。そのためには、私が先導に立ち、職員と共に一丸となって進みたい」と訓辞を述べられました。職員を代表して、岡田昌史総務部長から「南あわじ市五万五千人の市民を代表する市長と共に私たち職員は全体の奉仕者として、誠実・公正かつ、能率的に職務を遂行します」と答えました。

▼当選証書の付与

午前十時三十分から当選証書の付与式が中央庁舎別館会議室で行われ、馬部武選挙管理委員会委員長から当選証書が手渡されました。



▲馬部選挙管理委員会委員長から当選証書の付与

委員長から「私たち市民にとって最良のリーダーを選ぶ重要な選挙でした。市民のために、なお一層のリーダーシップを発揮していただきたい」とお祝いの言葉が述べられました。市長の任期は、投票日の二月十三日から四年間。就任日は二月十四日となります。